

「優駿」展

宮本輝ミュージアム 開設二周年記念

サラブレッドという奇跡

写真とことばでたどる小説「優駿」の世界

2007 5 | 21 (月) — 7 | 31 (火)

追手門学院大学附属図書館 内

宮本輝ミュージアム

優

生き物はみなそれぞれに美しい。だが人為的に作りだされてきた生き物だけが持つ不思議な美しさというものが確かにある。サラブレッドの美しさが、その底に、ある哀しみに似たものをたたえているのは、他のいかなる生き物よりも苛酷な人智による淘汰と、その人智だけでは到底計り知ることの出来ない生命の法則との対立によって生み出されて来たからなのだ

「優駿」第二章ゴドルフィン血より

一頭の仔馬との出会いが、宿命的なドラマを引き起こす。

小説「優駿」は、北海道の小さな牧場に生まれた、オラシオン（祈り）と名づけられたサラブレッドと、オラシオンに夢と祈りを懸けた人々の物語。オラシオンの競走馬としての成長を通して、いのちの尊さと哀しさ、宿命の持つ不思議な美しさが描かれています。

『宮本輝ミュージアム』開設二周年記念企画展として、「優駿」（1986年、新潮社刊、吉川英治文学賞受賞）をテーマに開催いたします。

宮本輝氏の語る作品世界、物語の舞台や背景を、美しい写真を交えてご紹介いたします。

夢だけでは決して語ることのできない、非情で残酷な一面を持つこの世界の中で、ひたむきに生きる登場人物の姿は、私たち一人ひとりの心に連なっていくことでしょう。

駿

展示物

- パネル（宮本輝「優駿」を語る）
- 映画「優駿」のポスター・パンフレット
- 直筆原稿
- 競走馬にまつわる写真・ビデオ 他



映画パンフレット



映画スチール写真

優駿ホール

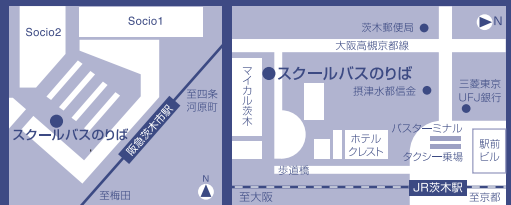
今年竣工した6号館の6201教室は、小説「優駿」の題名をもとに「優駿ホール」と名づけられました。追手門学院大学で学ぶ学生たちに、自らの道を駿馬のごとく未来へ駆けてほしいという願いが込められています。



スクールバス利用

阪急茨木市駅西口から発車

JR茨木駅マイカル茨木横から発車



※バスの時刻表につきましてはHPでご確認下さい。

阪急バス利用

「JR茨木」から「追手門学院前」下車（JR茨木駅前3番バス乗場 82・88系統）

追手門学院大学附属図書館

宮本輝ミュージアム

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL:072-641-9639

【開館時間】図書館開館時間に準じます。 ※詳しくはHPでご確認ください。

URL: <http://www.oullib.otemon.ac.jp/lib/>



おうてもん

追手門学院大学



2008年追手門学院は創立120周年を迎えます。